

在、県と協議しています。

水稲は、出穂期と長雨が重なったことや、これまでの平均気温が平年よりやや低いことから、登熟が長引きました。また、穂・もみの数が平年よりやや少なめで、今後の天候の回復に期待しています。

野菜は、長雨によって畑地に機械を入れられず、適期に病害虫の防除や収穫あるいは定植作業ができませんでした。そのため、生育傾向は軟弱で特にネギ、キュウリなど露地物には、出荷量の落ちこみなどの影響が出ています。



大館駅北側に決定

県北地区中高一貫教育校の建設計画

去る6月13日、県北地区中高一貫教育校の建設について、知事の県議会説明がありました。その中で県北地区中高一貫教育校の建設予定地をJR大館駅北側に決定したこと、校地については市が要望した9・8ヘクタールの中から必要な面積を確保したいとの考えが



果樹は、4月末の降霜と5月末の降りにより、一部の園地に被害が心配されましたが、その後の摘花作業の結果、目立った大きな被害にはなっていません。しながら、長雨と夏場の日照不足から精度の低下など品質面への影響を懸念しています。

今後、気象情報を的確に把握し、関係機関との連携を図りながら適期の収穫、病害虫の予防などの指導に努めます。

示されました。

その後、県議会での関連予算の審議や議決を経て、7月22日には釈迦内公民館で、県との共催により建設計画の説明会を開催しました。出席された地元地権者や周辺住民の方々からは特に異論はなく、予定地への調査立ち入りについて

も了解をいただいています。

また、県では8月初めから予定地の測量調査を開始していますが、市でも周辺整備の一環として工事用道路の整備に着手するなど、平成17年4月開校に向けて着実に事業を進めています。

順調に運用しています

住民基本台帳ネットワークシステム

住民サービスの向上と利便性、行政事務の簡素効率化を図るための「住民基本台帳ネットワークシステム」は、去る8月5日に国の指定情報処理機関や県と専用ネットワークで結ばれ、第1次稼働を開始しました。そして、本人を特定するための11けたの「住民票コード」の通知書を全世帯に郵送しています。

この制度は、住民の個人情報を取り扱うことから、個人情報保護のための対策として、住民基本台帳法が改正され、違反する行為に

なお、現在のところ、建設への反対意見は出ていませんが、工事用道路予定地に隣接する方々から工事用車両の通行時の騒音などに配慮してほしいとの要望があったため、車両運行の分散を図るなど、誠意を持って対処します。

対しては勧告と厳しい刑罰を科すなどの対策を講じています。

また、市独自の対策として、職員意識の向上、不正行為などの抑止と早期発見のための「大館市住民基本台帳セキュリティ対策要綱」を定めるとともに、問い合わせに対する窓口と専用電話を設置して、市民の皆さんの不安解消に努力しています。

現在のところ、トラブルもなく順調に運用していますが、今後も皆さんとの信頼関係を深めながら万全の体制で運用していきます。

そのほかの報告

- ・ 大館市環境マネジメントシステムの維持審査
- ・ 介護保険事業の状況
- ・ 第35回大館大文字まつりの開催
- ・ 日本海沿岸東北自動車道（大館・小坂間）の工事に伴う地方協力事業の実施計画

- ・ 成人祭の開催
- ・ 秋田県北部男女共同参画センターなどの開設
- ・ 図書館情報システム設置事業の進行状況
- ・ 無登録農薬の使用状況
- ・ 公共事業の進行状況